

痛み学入門講座

◆ 36 ◆



森本昌宏（もりもと・まさひろ） 大阪
なんばクリニック「痛みの治療センター」
本部長。平成元年、大阪医科大学大学院修
了。同大講師などを経て、22年から近畿大
学医学部麻酔科教授。31年4月から現職。
医学博士。日本ペインクリニック学会理事。

し、ペインクリニック誕生
後、麻酔科医がその手技を
改良し、積極的に治療に取
り入れるようになったのであ
る。
何らかの痛みを抱えてい
る場合、交感神経が刺激さ
れて血管が収縮し、血液の
流れが悪くなる。これによ
りさらに痛みが増強される
。このブロックを数回受
けた。局所麻酔薬が注入さ
れた途端に、顔面がポカポ
カとして手掌の汗が完全に
出なくなったことには驚い
た。
顔や手の痛み、痺れで悩
んでおられる人は、ペイン
クリニックで、星状神経節
ブロックの適応について相
談してみてはどうか。
（大阪なんばクリニック
「痛みの治療センター」本
部長）

神経には痛みなどを伝える知覚神経、筋肉を動かす運動神経、体のさまざまな機能を調節する自律神経の3種類がある。自律神経には交感神経と副交感神経があり、交感神経は血管を収縮させてエネルギーを発散させる機能を担い、副交感神経は血管を拡張させてエネルギーを蓄積する働きを持つ。呼吸、脈拍、血圧、体温、発汗、睡眠などの機能はこれら2つの自律神経のバランスによってコントロールされているのだ。

たとえば、交感神経が興奮すると、気管支が拡張し、血管が収縮して血圧は上昇、手に汗を握り、瞳孔が開いて、体毛が立つとの

生理現象が起こる。怒髪したものでしょう。天をつくの成句は、交感神経の緊張によって立毛筋が収縮している状態を形容

の辺り）に左右一対存在す

る交感神経の合流点（神経節）であり、頭部、顔面、胸部、上肢などの血液の流れを調節している。星状

節）であり、頭部、顔面、胸部、上肢などの血液の流れを調節している。星状

節）であり、頭部、顔面、胸部、上肢などの血液の流れを調節している。星状

星状神経節ブロック



イラスト 森井真理

血液の流れを改善する

はその形が星に似ていることからのネーミングである。

この神経節に局所麻酔薬を注入する治療法が「星状神経節ブロック」であり、

1930年頃に開発された。わが国でも、耳鼻咽喉科や眼科、整形外科などで用いられていたが、重い合併症の発症をみることもあり、60年以降はほとんど行われなくなっていた。しか

この神経節に局所麻酔薬を注入する治療法が「星状神経節ブロック」であり、

星状神経節ブロックは、頭部、顔面、胸部、上肢に痛み、痺れなどをきたす疾患が対象となる。その他にも「顔面神経麻痺」「突発性難聴」「アレルギー性鼻炎」、さらには「網膜色素

6月から第1、第3日曜日に掲載します。